## 令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

( 令和 2年 7月 作成)

1 -	<b>事務事業</b>	の是本事	<u> </u>						整理番号	<del>;</del> 27	2000-01-11	
車茗	次 市	不用道路・水路等の払下事務 担当部							都市整備部 道路管理課			
事務事業名			·		<u>[</u>	電	話番号	04-2964-1111 内線 2313			₹ 2313	
松	今 卦 画	施策の大網 04 住みやすく緑豊かなまちづくり					実	施期間	平成	24年	$\sim$ $\overline{1}$	<sup>2</sup> 成28年
	合計画本計画	政策(節) 03 都市施設の整備と維持管理 その他の計画							入間市行政改革長期プラン後期実行計画		——— 明実行計画	
		施策(項	) 01 道路・橋梁の整備と維持管理									
予算	算事業名	予算なし	予算なし									
事	務分類		客のうち義務 	-		治事務の			•	去定受記		<u> </u>
		□サービス		設整備				<u> </u>	□施設維持	管理	□内部事務	■その他
実力	施形態	■直営	□全部委		一一部委託				その他(	- » - /-	-1 1	)
事業背景	削 増 の 景・経 緯	従前の不用道路・水路の払い下げ事務は、隣接地権者等からの売却要望に基づき行われる受動的事務であったが、市の財政が厳しい状況下にあって、新たな歳入の確保についての模索の中、入間市行政改革長期プラン後期実行計画において、公有財産の有効活用として、不用道路・水路の払い下げ事務に取り組むこととなり、入間市行政改革大綱第一期実行計画においても同様に個別改革進行プランに位置づけられている。										
2	事務事業	の目的・	内容									
対	象	市が管理す	る道路・水	路				根拠	なし			
目		隣接地権の確保を図		利用の	利便性の向上を	を図るとと	さもに	、不用な	道路・水路	の払い	下げ事務の推	進により歳入
	たらそうと 成果)	の能がで図	· <b>3</b> 0									
	,,,,,,	市の所有	する道路・	水路の	中から払い下に	げの可否は	つい	で事前語	杏を行い。		1権者等への当	話道路・水路
	はの事業	の払い下げ	事務に取り	組む。	払い下げとな・	った場合に	、行	で政財産が	ら普通財産	に変更	する事務を行	う。価格の決
P	内 容	<b>止、</b>	の十統に フ	√, ( la.	管財課の事務。	となる。						
3 📱	事務事業	の実施状活	况と成果									
令和	1年度の	隣接地権者	等からの申詞	清に基	づき、不用道路	路・水路σ	)払下	げを行っ	た。			
	施内容											
区分	活動	指標名	区分	単位	平成29年	平成304	年	令和 15	下 令和	2年	目標値の根 (前年度値の場合	!拠・考え方 は「前年度実績」)
		水路の払下	目標値又は 前年度値	m²	212. 98	50.	92	285.	08	134	前年度実績	,
	面積 ①		実績値	m²	50. 92	285.	08	1	.34			
			達成率又は 前年度比	%	23. 91	559.	86		47			
			目標値又は	m²			Ť					
実	2		前年度値 実績値	m²			+		+			
施			達成率又は				+					
			前年度比 目標値又は	%			+		_			
状			前年度値				_					
況	3		実績値 <sub>達成率又は</sub>				+					
			前年度比	%								
			目標値又は 前年度値									
	4		実績値									
			達成率又は 前年度比	%								
区分		指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	年	令和 1年	F 令和	2年	(前年度値の場合	拠・考え方 は「前年度実績」)
	道路・ 面積	水路の払下	目標値又は 前年度値	m²	212. 98	50.	92	285.	08	134	前年度実績	
	1)		実績値	m²	50. 92	285.	08		.34			
成			達成率又は 前年度比	%	23. 91	559.	86		47			
果			目標値又は 前年度値				十					
	2		実績値				$\dashv$					
			達成率又は前年度比	%			十					

## 4 事業費

# 注	区 分					平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年
接換 (見込)額 ① 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円			市类弗	当	初 予 算 額	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
A 人件費 従事職員数 嘱託・再任用 0人 0人 0人   人件費 ② 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円   総事業費 ③=①+② 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円   国・県支出金 ④ 0千円 0千円 0千円 0千円   その他特定財源 ⑤=④+⑤ 0千円 0千円 0千円 0千円   大間市年間負担額 ③-⑥ 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円   効率性 指標名 道路・水路の払下面積 ⑦ 51 ㎡ 285 ㎡ 134 ㎡			尹未貝	決算	(見込)額 ①	0 千円	0 千円	0 千円	
A			人件費	一般職・労務職		0.5 人	0.65 人	0.75 人	
##					嘱託・再任用	0 人	0 人	0 人	
機事業費 ③=①+② 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円   国・県支出金 ④ 〇 千円 〇 千円 〇 千円   その他特定財源 ⑤ 〇 千円 〇 千円 〇 千円   特定財源 ⑥=④+⑤ 〇 千円 〇 千円 〇 千円   入間市年間負担額 ③-⑥ 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円   効率性指標名 道路・水路の払下面積 ⑦ 51 ㎡ 285 ㎡ 134 ㎡	経				パート等	0 人	0 人	0 人	
総事業費 ③=①+② 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円 日・県支出金 ④ 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 7の他特定財源 ⑤ 0 千円 0 千円 0 千円 サ 定財源 ⑥=④+⑤ 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 入間市年間負担額 ③-⑥ 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円 対率性 指標名 道路・水路の払下面積 ⑦ 51 ㎡ 285 ㎡ 134 ㎡ 134 ㎡ 145 円 134 ㎡ 145 円 134 ㎡ 134 ㎡ 145 円	費			人(	牛 費 ②	6, 143 千円	5,533 千円	5, 496 千円	
その他特定財源 ⑤ 千円 0 千円 0 千円 0 千円   特定財源 ⑥=④+⑤ 0 千円 0 千円 0 千円   入間市年間負担額 ③-⑥ 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円   効率性 指標名 道路・水路の払下面積 ⑦ 51 ㎡ 285 ㎡ 134 ㎡	Д	総事業費 ③=①+②			3=1+2	6, 143 千円	5,533 千円	5,496 千円	
特定財源 ⑥=④+⑤ 0 千円 0 千円 0 千円 入間市年間負担額 ③-⑥ 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円 カッキ性 指標名 道路・水路の払下面積 ⑦ 51 ㎡ 285 ㎡ 134 ㎡			国・県	支出金	4	0 千円	0 千円	0 千円	
大間市年間負担額 ③-⑥ 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円 対率性 指標名 道路・水路の払下面積 ⑦ 51 ㎡ 285 ㎡ 134 ㎡			その他	特定財源	5	0 千円	0 千円	0 千円	
対象性   指標名   道路・水路の払下面積		特	定財	源	6=4+5	0 千円	0 千円	0 千円	
が 一	入間市年間負担額 3-6 6,143 千円 5,533 千円 5,496 千円								
指標 コスト 1㎡当たり ③÷⑦ 120,450 円 19,414 円 41,014 円		性指	旨標名 <sup>這</sup>	道路・水路	の払下面積 ⑦	51 m <sup>*</sup>	285 m <sup>*</sup>	134 m <sup>²</sup>	
	指:	漂こ	1スト 11	n <sup>3</sup> 当たり	3÷7	120, 450 円	19,414 円	41,014 円	
備考	備	考							

## 5 事務事業の評価◆1次評価

/III	必要性	有 効 性	効 率 性		
個別	□必要不可欠	□大変有効である	□向上		
	■高い	□ 有効である ■ 普通	□やや		
評	□普通	<del>-</del> ···-	■ 変わ	J 6: :	
価	□やや低い	□ あまり有効でない	□ やや □ 悪化		
ІІЩ	□低い	□ 有効でない			
総		評価		今後の方向性	
合		的には3件実施することができた。課題と		□充実	
的		見送る形とした。今後も、速やかに払い下	「げができ	■ 継続 □ 縮小	
評	るよう事務の効率化を図っていく。				
価				□ 廃止・休止 □ 完了・終了	
	令和 1年度の取り組み課題			改善 の評価	
	払い下げの申し出が発生した場合等、作	成した一覧表を活用し、円滑かつ積極的に	不用な財		
	産処分を行っていく。また、元年度は作	成した一覧表を活用し、円滑かつ積極的に 成した一覧表に項目を追加し、より使いや	すいもの	□改善できた	
	にしていく。			■やや改善できた	
				□ 改善できなかった	
改	令和 2年度の取り組み課題				
善		成した一覧表を活用し、円滑かつ積極的に	不用な財産	音処分を行っていく。また、	
課	令和1年度に作成した一覧表をより使い	やすいものにしていく。	1 / 13 0 / / 13		
, - , -					
題	令和 3年度の取り組み課題				
		ようと 除土を対ける ロ場 1 ~4まに始ら		マ for ハ マ ケー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	払い下げの申し出か発生した場合等、作	成した一覧表を活用し、円滑かつ積極的に	.个用な財産	を	

## ◆2次評価

総	今後の方向性	具 体 的 内 容
合	□ 充実	令和元年度は複数件の不用道路を処分できた点を評価する。不用な公共用地の売却による歳
的	■ 継続	│ 入は貴重な財源となる。売却における費用対効果は、経費と売却益の比較のみならず、当該 │ 用地に係る維持管理費の削減や税収の発生も加味して精査する必要がある。引き続き事務の
評	□ 縮小	
価	□ 廃止・休止	かつ積極的に能動的な交渉を行っていく必要がある。